



エアロPTZカメラの洗浄手順について

2023年4月

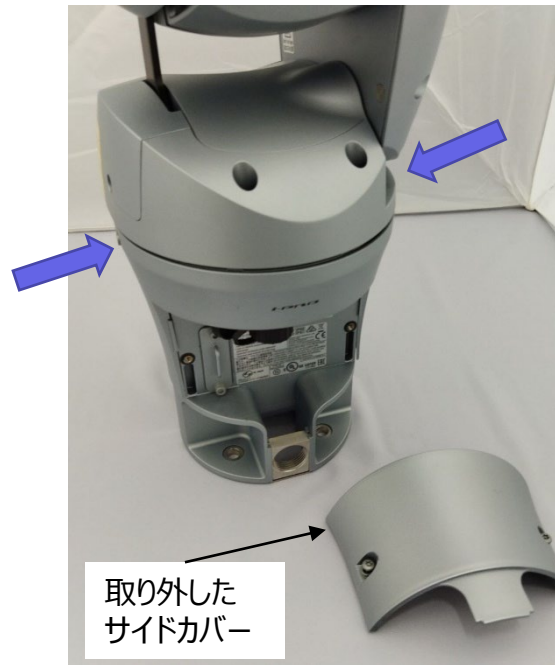
エアロPTZカメラの洗浄手順について

耐重塩害仕様のWV-SUD638シリーズ（エアロPTZカメラ）であっても、塩害地域（岩礁隣接地域など）に設置された場合は、定期的な洗浄が必要です。ここでは、エアロPTZカメラの洗浄手順についてご説明します。

- ① 付属のビットを使用して、2か所のネジを緩めてサイドカバーを取り外す



- ② 六角レンチを使用して、取付台座を固定する側面2か所のネジを緩めて取り外す



エアOPTZカメラの洗浄手順について

- ③側面台座の両脇を抑えながら、取付台座を底面方向にずらす



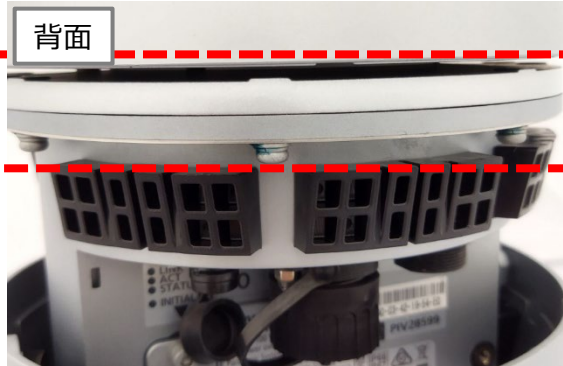
ずらした後



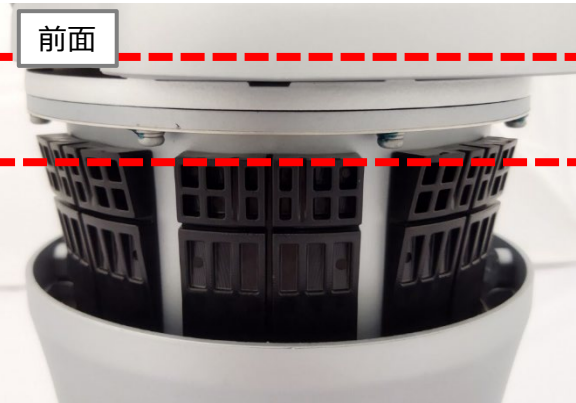
エアロPTZカメラの洗浄手順について

- ④ 塩が付着している  の部分を水で洗い流し、乾いた布で水分を拭き取る

背面



前面

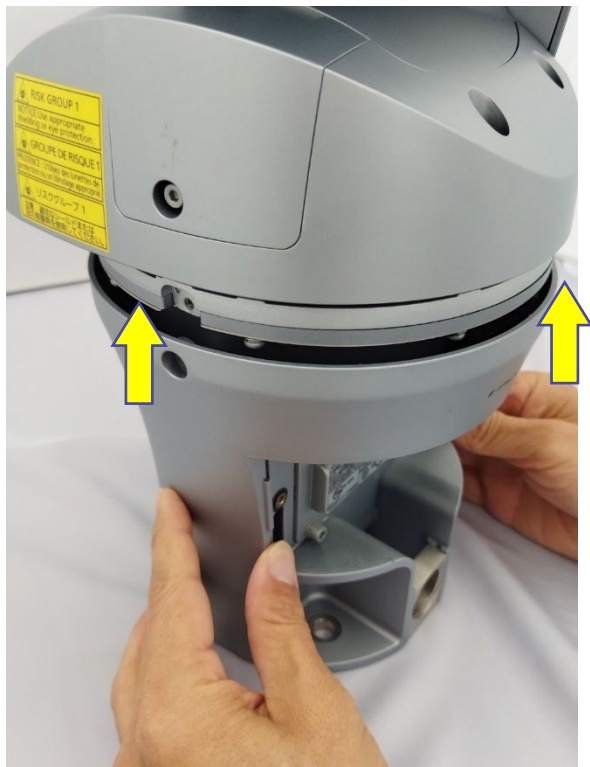


- ⑤ 取付台座の上側の縁（内側）を、水で濡らして固く絞った布で拭き取る



エアOPTZカメラの洗浄手順について

⑥手順③→②の逆の要領で、取付台座を元に戻す（締付トルク： $14\pm 1\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ）



⑦手順①の逆の要領で、サイドカバーを元に戻す（締付トルク： $14\pm 1\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ）





i-PRO